

外来診療のご案内

	午前	午後
診療科	●受付 新患/8:30~11:00 (内科・歯科口腔外科は11:30) 再来/8:30~11:30 (内科・歯科口腔外科は12:00) 土曜日/8:30~11:00	●受付 新患・再来/13:00~16:00 ※診療科により異なります。 (下記参照)
内科	月曜日～金曜日・土曜日(第2・4土曜日)	— (一部予約診療あり)
外科	木曜日・土曜日(第4土曜日) ※乳がん検診 水曜日(9:30~)・金曜日(10:00~)	月曜日
整形外科	月曜日～金曜日・土曜日(第2・4土曜日)(予約制)	—
骨粗しょう症外来	—	火曜日・水曜日(13:30~16:30)(予約制)
眼科	月曜日～金曜日・土曜日(第2土曜日)(予約制)	—
婦人科	月曜日・火曜日・水曜日・金曜日	—
耳鼻咽喉科	月曜日～金曜日・土曜日(第2土曜日)	月曜日・火曜日・木曜日・金曜日(13:00~15:00)
泌尿器科	月曜日・水曜日・金曜日	—
皮膚科	火曜日	木曜日(13:30~15:30)
形成外科	—	月曜日・火曜日・木曜日(13:30~15:30)
歯科・歯科口腔外科	月曜日～金曜日・土曜日(第2・4土曜日)(予約制)	月曜日～金曜日(予約制)
人間ドック科	月曜日～金曜日(予約制)	—
禁煙外来	—	火曜日(15:00~16:00)(予約制)
渡航外来	月曜日・火曜日	—
スポーツ外来	木曜日(予約制)	—

◎お問い合わせ/TEL.095-801-5800(総合受付) TEL.095-801-5517(地域連携室)
 ※その他、出張等により休診となる場合もございます。

編集後記

新年号はInstagramフォロワー1000人を記念し、これまでの記念投稿をへびになぞられて表紙を飾っております。恒例の抱負を各部署より発信しておりますので当院の今年の意気込みを是非ご一読ください。
 今年は巳年。蛇が皮を脱ぐように、一皮剥けた成長・挑戦の年にしたいものです。
 皆様におかれましても、素晴らしい1年になりますよう心からお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

[編集スタッフ] 松尾(沙)・阿比留・中上・松尾(清)
 前田・林田・平田・吉岡・君野



〒852-8004 長崎市丸尾町6番17号
 TEL 095-801-5800(代) FAX 095-801-5803
 TEL 095-801-5517(地域連携室)
 発行元: 重工記念長崎病院長 矢部 嘉浩

<https://www.jmnh.or.jp/>



随時更新中!!
 フォロー
 お願いします

患者さんに信頼され親しまれる病院を目指した医療を行います

重工記念長崎病院 広報誌

Harmony

Vol. 83
 Communication Magazine.2025 [ハーモニー]

Instagram フォロワー1,000人 達成しました!!

900人達成!

600人達成!

800人達成!

フォロワー数700人!!

2025

フォロワー200人達成!

フォロワー500人達成!

フォロワー700人達成!

フォロワー800人達成!

フォロワー1,000人達成!

特集 重工記念長崎病院

病院長・各部門ごあいさつ

シリーズ[診療科・部署紹介]

4階病棟のご紹介

TOPICS 放射線科

高性能X線透視装置を導入しました



本年も重工記念長崎病院を よろしく願いいたします

「強み」と「ニーズ」を捉え 選択・集中で歩む

新病院移転後6年目の春を迎えようとしています。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザウイルス感染症も現在は小康状態にありますが、まだまだ予断を許さない状況です。当院では、ウイルスに対応した新型の空気清浄機を、病室を中心に導入しており、感染制御に役立っています。

さて、当院の整形外科は脊椎外科と関節外科を特に強みとし、長崎大学整形外科教室とタイアップしながら、最先端の低侵襲手術を提供しています。2023年の手術実績は923例で、内訳は脊椎外科458例、人工関節114例、鏡視下肩腱板修復53例、外傷136例でした。

診療体制は常勤医師6名ですが、長崎大学整形外科教室より3名の専門医の先生に診療応援に来てもらい、また肩関節と骨粗鬆症が専門の開業医の先生1名の計10名の整形外科医で診療にあたっています。脊椎外科は3名の脊椎専門医に、大学から2名の脊椎専門医の先生を加え、5名の専門医で診療しています。最近のトピックスとしましては、内視鏡を用いた傷が小さい脊椎固定術を採用しており、腰椎固定術109例の95%以上に行っています。手術時間も1時間程度と短く、術後感染も今のところありません。また高齢女性には、骨粗鬆症治療を併用しており、骨癒合率も高そうです。

関節外科・外傷は5名の医師で担当し、主に鏡視下肩腱板縫合術や股関節・膝関節の人工関節、膝関節鏡視下手術を行ってきました。肩腱板広範囲断裂など一次修復困難な腱板断裂に対して、これまで腱移行・腱移植・人工肩関節置換術などを行ってきましたが、術後成績は余り芳しくありませんでした。これに対し、新しく鏡視下に上腕骨頭の一部を切除して、一時縫合を行う手術を導入しています。手術手技も比較的簡便で、手術時間も短く、術後成績の改善も得られそうです。また2024年4月からは長崎大学膝・スポーツ班の先生に診療応援に来てもらい、スポーツ外来を立ち上げ、膝関節骨切り術・半月板縫合術などが増加しています。当院は骨粗鬆症治療にも力を入れており、毎週火曜日、水曜日の午後に専門外来を行っており、現在は約900名の患者さんが治療を受けておられ、二次骨折予防に寄与しています。

術後のリハビリテーション治療が充実していることも当院の特色の一つです。理学療法士17名、作業療法士6名、言語聴覚士1名の計24名が在籍し、特に運動器疾患の国際的認定資格である国際マッケンジー協会認定セラピストを11名が所有し、質の高いリハビリテーション治療を提供しています。2024年10月からはシフト制を導入し、週6日リハビリテーションを行い、患者さんのより早い社会復帰に貢献しています。

開設以来129年、長く培ってきた歴史と伝統をさらに進化させ、新病院移転後も皆様のご期待に沿える様取り組んで参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

重工記念長崎病院
病院長

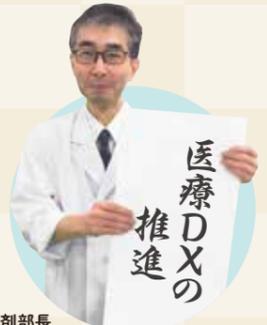
矢部 嘉浩
Yoshihiro Yabe

各部門より
年頭の抱負と
ごあいさつ



事務部長
小野 治

自分では全く気付いていなかったのですが、昨年7月末に心臓に重い病があることが分かり、手術を受けました。その時「一病息災」という言葉があることを知ったのですが、病氣もなく健康な人よりも、一つくらい病氣のある人の方が健康に気を配り、かえって長生きするという意味です。この言葉が病氣になった人を慰め励ますために使われるものであると分かっていても、勇気や自信が湧いて来るのは確かです。バランスの良い食事、毎日の団地内のぶらぶら歩き、週末の神の島プールでの歩行浴等々、今年も小さなことからコツコツと自分のペースで取り組みます。



薬劑部長
山本 稔

近年、医療業界においてもDX(デジタル・トランスメーション)が進んでおり、昨年12月からは国の施策で従来型の健康保険証の新規発行が停止され、マイナ保険証への切り替えが進められています。マイナ保険証や電子処方せんが導入されると、医師や薬剤師が患者さんの過去の服用薬を正確に把握することが可能となり、併用禁忌や重複投薬を防ぎ易くなります。当院でも本年は電子カルテシステムのバージョンアップにあわせて電子処方せんを利用できる環境を整備する予定です。またセキュリティへの不安などもあり、マイナ保険証の登録者数も伸び悩んでいるようですが、個々の患者さんのニーズに合わせて、より安心・安全に薬物療法が行えるよう、環境整備に努めて参ります。



副院長
野元 健行

新型コロナ感染者も減少し、旅行者も増え、観光事業やイベントも随分と企画されるようになってきました。昨年10月には、スポーツを中心としたイベントが開かれる大型地域創生事業として、スタジアムシティ長崎も開業し、当院も協賛企業となりました。今後、地域の活性化に伴い人口減少に歯止めがかかり、高齢化社会の支援や医療資源の安定供給により地域住民の健康増進を図るように取り組んでいきます。



看護部長
峯 麻紀子

今年の干支である巳(蛇)は「脱皮」を繰り返して成長していくため、「再生・回復」や「成長」といった縁起の良い象徴とされています。また、看護の原点についてナイチンゲールは「人間の自然治癒力を高めること」と述べており、巳年の意味と共通しています。私たち看護師は、今一度看護の原点に立ち返り、患者さんの自然治癒力を高める思いやりの看護を実践し、また一つ成長できる年にしたいと思っています。



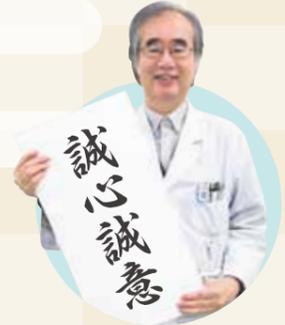
医療技術部長
池田 章子

医療技術部は、リハビリテーション科(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)・放射線科・臨床検査科・眼科(視能訓練士)・歯科口腔外科(歯科衛生士)に所属する職員で構成される医療を支える専門職集団です。患者や家族、医師をはじめとする関係職員および自分たち自身も「笑顔」になれる対応を心がけてまいります。本年もよろしくお願ひいたします。



医局長
桑原 宏永

コロナ感染対策の面会制限などで患者・ご家族さまにご不便をおかけして参りましたが、少しずつ緩和され、以前の病棟風景が戻ってきているようです。当院は2024年4月から当院も輪番病院枠へ参画しました。少ない回数ではありますが、救急医療への貢献が実現できればと各部署で協力・工夫しています。また、訪問診療・訪問看護ステーションに人材を注力し、必要とされる地域医療へ新たな形で貢献できるよう、こちらも頑張っているところです。新年を迎え、医局員一同頑張って参ります。



健診センター長・内科部長
馬詰 裕之

今年も、受診された皆様の健康づくりに貢献できるよう努めて参ります。ウェブ予約も随時受け付けており、ますますの御利用をお待ちしております。今後とも、よろしくお願い致します。



臨床検査科 技師長
木下 和久

臨床検査科は、巳年に因み“未来を切り開く”“進化する”といった意味合いと結び付け、臨床検査科の進歩を目指します。検査室も現在より成長するため脱皮し未来を見据えた活動として①精度の向上、②新しい検査技術・項目の導入、③スタッフ教育とスキルアップ、④感染対策と安全管理の徹底、⑤患者さん中心のサービスの提供、⑥感染症関連検査の強化、を臨床検査科の共通目標とし各スタッフ間で協調しながら一步先へ進化してまいります。



放射線科 技師長
稲形 正芳

最新の装置を活用し、画像の保存と共有を円滑に行い、依頼医、患者さんへのサービス向上を図ります。新たな撮影装置の更新を通じて、画像の質向上、被曝低減を追求し、患者さんに安心して検査を受けていただける環境を整えます。さらに、医療スタッフの教育と研修に力を入れ、常に最新の知識と技術を提供できるように努めます。



リハビリテーション科 技士長
篠原 晶子

今年のリハ科のモットーは「会話」です。患者さんや地域に求められるリハの充実を目標にスタッフ間の連携を会話と話しやすいつゆ気な高めで「選ばれたリハビリテーション科」を目指します。今年もよろしくお願ひいたします。



訪問看護ステーション 師長
中村 優子

訪問看護ステーションを立ち上げて、丸3年が経過しました。多くの方のご尽力により、訪問診療、訪問看護共に多くの方にご利用いただいております。ご利用された方からは「訪問診療や訪問看護を利用してきて良かった」と喜びの声を頂く半面「こんな制度があることを知らなかった」との声も聞かれ、まだ十分に周知されていない現状です。今年も、利用者やご家族に寄り添い、少しづつ皆さんに知って頂くように、引き続き誠実な医療、看護を提供してまいります。



感染対策室 室長
笹崎 佳代子

これまで、季節の移り変わりに合わせ、流行する感染症がイメージされていましたが、最近は、自然災害も多くなり、常に感染症に対する備えが必要になってきています。私たち感染対策チームは、目の前の実践を評価する「虫の目」、自分たちの取り組みを俯瞰してみる「鳥の目」、そして、水の流れるように、起こりうるリスクを予測する「魚の目」を持ち、どのような状況でも柔軟な感染対策を実践できるよう努めてまいります。



栄養管理室 室長
今井 智恵美

昨年は、もっと美味しい食事を継続的に安定して提供することを目指し、新しいスタッフ・パートナーを迎えました。初めは戸惑い続きでしたが「美味しく食べて欲しい」「元氣になって欲しい」という思いを共有し伝え合うことで何とか一つ壁を乗り越えたように思います。今年は「食・栄養」の分野からワンステップ(一歩)先の支援が出来るよう個々の知識・技術を磨き、取り組んで参ります。



地域連携室 室長
君野 真由美

当室は発足し本年で20年を迎えます。巳年は、ヘビが脱皮することから、新しいことが始まる1年だと言われています。20年目の地域連携室は次章へと進み、「地域共生」の視点を持ちながら、当院の強みである「予防」「急性期」「地域包括ケア病棟・リハビリテーション」「在宅」医療を主軸に院内外のファシリテーターとして自ら行動していきたいと思っています。そのためにスタッフ一人一人の行動力や個々のアセスメント力やコーディネートの技量を高め、日々研鑽して参りたいと思います。



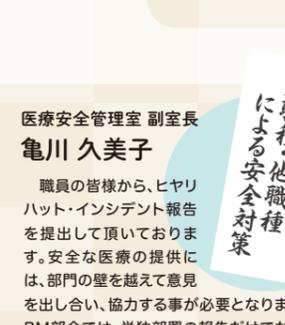
医療情報室 室長
佐藤 亜希子

「医師の働き方改革」の推進に伴い、質の高い安全な医療が求められています。そのためにもスムーズな業務運営が行えるよう、スタッフ一人一人が自分の役割を認識し取り組んでおります。カルテの代行入力や診断書作成、データ管理など直接患者さんに関わる業務ではありませんが、線の下の力持ちとして他部署の意見を取り入れながらしっかりと支えることが出来るよう、今年も努力して参ります。



健康サポート室 室長
白倉 美香

健康サポート室では生活習慣病の啓発活動を行っております。糖尿病・骨粗鬆症・睡眠時無呼吸などを中心に活動しておりましたが、昨年度より高血圧アプリを導入し高血圧へも力をいれることとしました。「アプリで高血圧を管理?気になる」という方はご相談ください。1階フロアに糖尿病や高血圧についてなど生活習慣病についての情報をポスターにして張り出しておりますので足を止めて読んでいただくと幸いです。(毎月変更しています)また、昨年は特定看護師としての活動が少なかつたため今年は特定看護師としての活動をひろげていこうと考えております。



医療安全管理室 副室長
亀川 久美子

職員の皆様から、ヒヤリハット・インシデント報告を提出して頂いております。安全な医療の提供には、部門の壁を越えて意見を出し合い、協力する事が必要となります。RM部会では、単独部署の報告だけでなく、関連部署で報告された内容についても、背景・要因をさらに分析し、双方の対策が互いに無理なく実行可能なものか、他に対策案はないか、検討しております。今後も、職員が安全に業務遂行できるよう、患者さんご家族が安心して医療の提供が受けられるよう、情報収集と分析、対策立案に取り組んでいきたいと思っております。ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

4階病棟

Series
診療科・部署
ご紹介



多職種連携を強化し、 質の高い看護の提供を

4階病棟は、整形外科病棟です。脊椎、肩関節、膝関節、股関節の疾患や圧迫骨折など運動機能の障害で日常生活が制限されている方が主に入院されています。治療は、手術や投薬等の保存的な治療、リハビリ等の機能訓練を行います。

病棟では、術前から術後までの周術期の全身管理や日常生活援助を行います。患者さんが安心・安全な治療が受けられるように努めています。最近では高齢で基礎疾患を持つ患者さんが増えており、多職種と連携し個別性を活かした看護を実践しています。

当病棟にはリハビリ室があり理学療法士・作業療法士によるリハビリが病棟にて行われています。緊急入院や手術が多い急性期病棟ですが、協力し合えるチーム力が持ち味です。毎日元気に明るく頑張っています。これからも多職種連携を強化し、質の高い医療・看護の提供が出来るように努めていきたいと思ひます。



NEW FACE

新任ドクター ご紹介

眼科 医師 高尾 美貴

令和7年1月より眼科医師として勤務することとなりました、高尾美貴と申します。平成31年に長崎大学を卒業後、長崎医療センターで初期研修を行い、眼科手術の奥深さに魅了され長崎大学眼科へ入局しました。本院の前は、長崎医療センター眼科で勤務しておりました。本院では、外来では一般眼科診療を、手術では白内障や翼状片手術を担当させていただきます。生まれも育ちも長崎市で、また長崎市で勤務することになり嬉しく思うとともに、微力ながら地域医療に貢献できるよう頑張りたいと思っています。職場も変わり不慣れな点も多く、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、日々精進してまいりたいと思ひますので、何卒よろしくお願ひいたします。

X線透視装置 「Ultimax-i」導入!!

今回導入されたX線透視装置はCanon社「Ultimax-i」は多様な検査に対応する高性能な装置となっており、患者さんに優しい検査環境が実現されています。

注目ポイント

- 1 天板が床上52cmまで降下する為、車椅子やストレッチャーの方の移乗も安心して行うことが可能となり患者さんの負担を軽減しています。
- 2 天板はフルフラットで幅60cm、長さ231cmと広く、安全に検査を行っています。
- 3 装置の設置スペースは非常にコンパクトで広々としたワークスペースが確保できました。
- 4 画像処理技術により、低線量でも診断に適した高画質な画像が得られるようになり、患者さんの被ばくを抑えています。



訪問看護 日記

訪問看護スタッフのご紹介

現在看護師6名、看護師長1名体制で訪問診療及び訪問看護サービスを提供しております。

訪問看護ステーションの役割

地域住民の方が住み慣れた自宅での療養生活を送れるように看護師が自宅へ訪問し、異常の早期発見や状態に応じたケア、在宅医療に関するアドバイスなどを行います。また、緊急時には24時間365日対応の体制を整備しています。当院の訪問看護ステーションは、病院併設である強みを生かし、シームレスな医師との連携や入退院支援も行います。



Nチャレンジを 開催しました!!

職員の健康増進活動の一環として、「Nチャレンジ」を開催しました。
Nチャレンジは各個人で運動量を競い合い、日々の生活に運動を取り入れることで心身ともに健康を目指しています。今年度は6月と10月に分けて2か月間実施しました。先日表彰式を行い、入賞者には豪華景品が贈呈されました。入賞されたスタッフの皆さん、おめでとうございます。当院は今後もこの活動を続けていきます。



11/14は
世界糖尿病
DAY

重工病院糖尿病デー

昨年の世界糖尿病デー(11月14日)には稲佐山や女神大橋など長崎のランドマークが糖尿病カラーのブルーにライトアップされました。気づいてくれた方はいらっしゃいますか?きれいでしたよ。
「糖尿病」という言葉にみなさんどんなイメージを持たれていますか?マイナスイメージを持っている方もいらっしゃるのではないですか?今後「糖尿病」という病名はDiabetes(ダイアベティス)へと変わっていきます。そのため、世界糖尿病デーはWorld Diabetes Day(WDD)へと生まれ変わります。
当院では糖尿病(ダイアベティス)を少しでも理解してもらいたいと様々な取り組みを行っています。「糖尿病新聞」を発行し最新の情報を提供したり11月は1階フロアに糖尿病に関するポスターを掲示いたしました。当院では糖尿病の人も健康な人とかわらない寿命とQOLを目指せるよう、ともに歩んでいく治療を目指しています。



院内研修発表会を 開催しました

11/16(土)院内研修発表会が開催されました。院内各部署より日頃の研究や取り組みなどについて8演題の発表と、「きず」と「きずあと」の治療というテーマで形成外科田中先生より特別講演が行われました。
活発な質疑応答が交わされ、他部署のことを深く知る機会にもなったようです。特に優秀な演題が選ばれ、院長より表彰を受けました。



- 最優秀賞 看護部「面会制限中におけるリモート面会 —利用状況と家族の満足度・今後の課題について—」
- 優秀賞 リハビリ科「当院の訪問リハビリテーションについて ~実働報告と“活動と参加”に着目した症例~」

院内保育所 **スマイル保育園**

12/24 クリスマス会

今年もたくさんのプレゼントを抱えて病院長サンタクロースがスマイル保育園にやって来ました🎅
子どもたちがドキドキしながらサンタさんに「何歳ですか?」と聞くと「1003歳だよ」とお返事が🙄
「どうやって来たの?」と聞くと「トナカイのソリに乗ってきたよ」
「どこに住んでいるの?」「フィンランドから来たんだよ」と優しく教えてくれました。
ひとつひとつのお返事に子どもたちは大喜びでした🥰
サンタさんから一人ずつプレゼントを手渡しで頂きましたよ。
0歳児クラスのもも組さんの中には怖くて泣き出した子もいましたが(笑)
みんなしっかりプレゼントをもらって楽しいクリスマス会になりました。
また来年も待っています🎄



サンタさん
ありがとう!!

COLUMN *病院* と さるく

● 今回のさるく人 3階病棟 本田 莉菜

私の趣味は釣りをすることです。釣りにハマったきっかけは、3年ほど前に友人とキャンプに行った際に「キャンプ場で新鮮な魚を食べたい」という話になり、気づけばキャンプよりも釣りに夢中になっていました。休みの日には遊漁船に乗り船釣りへ行ったり、堤防へエギングやアジングに行きます。船釣りでは長崎南部~佐世保方面まで様々な遊漁船を巡り、船で五島近海まで釣りに行くこともあります。

長崎は「さしみシティ」と呼ばれるほど魚種が豊富で四季折々の旬の魚を食べることができます。釣りをしていると初めて見る魚やサメやイルカに出会うこともあります。魚を釣った後も捌く楽しさや料理をして食べる楽しさが待っているため、釣って食べるまでを楽しんでいます♪ 幻の高級魚と呼ばれるクエを釣り上げ、クエ鍋にして食べることを目標にこれからも頑張ります!



診療日変更のお知らせ 令和7年4月より土曜診療を終了いたします

令和7年3月まで	平日、および第2・第4土曜 診療
令和7年4月より	平日のみ診療

これまで当院では平日に加えて第2・第4土曜日も診療を行っていましたが、令和6年度末(令和7年3月22日)を以って土曜診療を終了させていただく運びとなりました。ご不便をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。